

《 太陽大好き
夏の花畑 》

お待たせしました！ ジニアまもなく見頃

国営ひたち海浜公園では、“みはらしの里”で約35万本のジニアがまもなく見頃を迎えます。今年のジニアは、梅雨が長く日照が不足したため、生育が遅れました。梅雨明け後は一転、日差しの強い日が続いたため、暑さと乾燥に強いジニアは元気に成長。今週末の8月17日（土）頃から見頃（7分咲き）となる見込みです。



撮影/2019年8月12日（3分咲き）

◆次々と咲き続け、夏いっぱい楽しめる

ジニアは、キク科ヒャクニチソウ属の春まき一年草。メキシコを中心とした南北アメリカ原産で、日本へは江戸時代末期に渡来。和名の「百日草(ヒャクニチソウ)」は、開花期間が長く次々と花を咲かせることに由来し、9月上旬までの長い期間でお楽しみいただけます。

場所:みはらしの里 本数:約35万本 品種数:10品種(ロイヤルミックス他)
面積:3,600㎡ 見頃時期: 8月中旬～9月上旬

◆10品種中、当公園初登場は3品種。花姿に特徴あり

今年は、赤・白・黄・桃・紫の5色の大輪品種「ロイヤルミックス」に加え、珍しい色や咲き方の品種を植栽。花びらが細く糸のようによじれるカクタス咲きの「セニョリータピンク」と、アンティーク風の色合いが魅力のクイーンシリーズから、ライムからオレンジ系の「クイーンライムオレンジ」、ピーチピンクからアプリコット系の「クイーンライムブロッチ」の3品種が当公園初登場です。



セニョリータピンク（2019年8月11日撮影）



クイーンライムオレンジ（2019年8月11日撮影）



クイーンライムブロッチ（2019年8月11日撮影）

◆バラエティに富んだ咲き方も魅力

2つの原種とその交配種が流通するジニアのうち、当公園で植栽している品種は、ジニア・エレガンスの系統です。昔から仏花として親しまれ、「ヒャクニチソウ」の名前で流通しています。花色が豊富で、八重や一重など花の咲き方も少しずつ異なるため、好みの花を探すのも楽しみの一つです。

Information

ヒマワリの見頃は、
8月下旬となる見込み

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp/>